

# これから考えなければならぬことは・・・

札幌の子どもたち、ひとりひとりの「子どもの権利」がしっかりと保障されて、札幌が「子どもたちにやさしいまち」になるためには、どんなことが必要でしょう。

そこで9つの課題を考えました。

この課題を解決するような札幌のきまり（条例）をつくることで、みんなが安心して、自信をもって、自由にいきいきと成長できるようにしたい。そう願っています。

## みんなで「子どもの権利」を学ぼう

子どもも、大人も、みんなで「子どもの権利」について話し合い、学ぶことが必要です。



## 毎日の生活の中で子どもの権利を保障しよう



「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」など、保障されなくてはならない子どもの権利について、誰もがわかる言葉で文章にし、みんなの約束として示すことが大切です。

## 子どもが意見を言ったり 社会に参加する権利を保障しよう



学校や自分たちの暮らす地域については大人だけで決めるのではなく、子どもと大人が一緒に学校づくり・まちづくりを行わなくてはなりません。

## 子どもを見守ってくれる やさしいまちをつくろう



大人たちみんなが協力して、子どもを保護し、その成長を応援してくれる、やさしいまちを目指しましょう。

## 子どもが自分らしく 安心してすごせる場所をつくろう



子どもたちが自由に安心してすごせる場所が、身近にあるといいですね。また、イベントや行事にも自由に参加したりすることができることも大切ですね。